

画像撮像法

CT

- 造影剤を使用し、門脈相撮影を行います。
- 患者さんが造影剤を使用出来ない場合は、**単純**にて撮影します。

頭部	スライス：5.0mm （3.0mm 撮影も可能） ギャップ：1, （ギャップ 0 も可能）
頭頸部	スライス：5.0mm （3.0mm 撮影も可能）
胸部	スライス：5.0mm
腹部	スライス：5.0mm
骨盤部	スライス：5.0mm
その他	別途ご相談下さい
条件	門脈相からの撮影 （肝臓の試験は多時相撮影可能）

PET

検査薬	18F-FDG
投与量	240mBq
投与から撮影までの時間	60 分前後で撮影
撮影範囲	頭部～骨盤 （大腿 1/3 上部）
撮影方法	減衰補正 （非減衰補正の画像は提供していません）

骨シンチ

検査薬	99mTc-MDP/HMDP
投与量	740mBq
投与から撮影までの時間	3 時間前後で撮影
全身スキャン速度	20cm/min

MRI

- 造影剤を使用し、撮影を行います。
- 患者さんが造影剤を使用出来ない場合は、**単純**にて撮影します。

頭部 ※通常 造影のみ の撮影です	スライス：5.0mm Axial： FLAIR Sagittal：3D T1 GRE ギャップ：0.5，（3D 撮影はギャップ無）
頭部 ※ 造影前後 撮影 の場合	スライス：5.0mm 単純 ⇒ Axial： T1,T2, FLAIR, DWI 造影 ⇒ Axial, Sagittal： 3D T1 GRE ギャップ：0.5，（3D 撮影はギャップ無）
頭頸部 ※造影前と造影 後では撮影方法 が異なります	スライス：5.0mm （3.0mm 撮影も可能） 造影前 ・ Axial（眼窩～甲状軟骨）： T1（SE）, T2（SE）, 拡散強調, ADCmap, 3mm スライス, ギャップ 1mm ・ Coronal（眼窩～鎖骨上縁）： T1（SE）, STIR, 3mm スライス, ギャップ 1mm 造影後 ・ Axial: T1（GRE DIXON water） 3mm スライス, ギャップ 0mm T1（GRE DIXON water） 1mm スライス, ギャップ-0.5mm ・ Coronal: T1（GRE DIXON water） 3mm スライス, ギャップ 0mm
胸部	—
腹部	原則的に腹部全領域の撮影は行いません <脾臓の撮影法> 造影前 ・ Coronal：T2 スライス厚 5mm ギャップ 1mm ・ Axial：T1 inphase, outphase T2 脂肪抑制 拡散強調（DWI） スライス厚 7～9mm ギャップ 1～2mm 3DT1 脂肪抑制 スライス厚 4.6～5mm ギャップ-2.3～-2.5mm ・ 2DMRCP Coronal、RAO、LAO 造影後 Axial：3DT1 脂肪抑制 スライス厚 4.6～5mm ギャップ-2.3～-2.5mm 動脈相、門脈相、平衡相、10 分、20 分（肝細胞相） ※使用する造影剤は EOB プリモビストですが、一般的な造影剤の使用も可能です

	<肝臓の撮影法> 造影前 ・ Axial : T1 inphase, outphase T2 脂肪抑制 拡散強調 (DWI) スライス厚 7～9mm ギャップ 1～2mm 3DT1 脂肪抑制 スライス厚 4.6～5mm ギャップ-2.3～-2.5mm 造影後 ・ Axial : 3DT1 脂肪抑制 スライス厚 4.6～5mm ギャップ-2.3～-2.5mm 動脈相、門脈相、平衡相、10 分、20 分 (肝細胞相) ※使用する造影剤は EOB プリモビストです。
骨盤部	別途ご相談下さい
その他	別途ご相談下さい

画像発送方法

画像の発送につきまして、以下の方法にて提供致します。

- **郵送** … 国内のみ（ヤマトまたはレターパック）
- **手渡し**
- **電子転送**

※郵送は国内のみ承ります。着払い伝票、緩衝材入りの封筒をご用意下さい。

※着払い伝票には差出人欄に下記住所等の印字をお願いします。

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 放射線診断科（氏名分空欄）

電子転送での注意事項

- ◇ 当院の電子転送は、AGMednet, AMBRA, CLARIO を主に使用しております。これ以外の電子転送を使用の場合は、必ずご連絡下さい。
- ◇ 電子転送を行う下記の登録をお願いします。
 - 平野 律子 Ritsuko Hirano rhirano@east.ncc.go.jp
 - 吉岡 陽子 Yoko Yoshioka yoyoshio@east.ncc.go.jp

 - 担当 CRC